

STUDENT LIFE

週刊NY生活・アメリカの学校紹介と学生ライフのページ



キッズ国際学園で本格的作法学ぶ

子供たちに
お茶会体験

キッズ国際学園で3月5日、毎春の恒例行事の一つであるお茶会が開かれた。今年の参加者は、幼児部初等部、日本語クラスの子供らとその保護者たち。日本人の夫や妻を持つアメリカ人である保護者たちは日本語にも熱心で、自ら成人日本語クラスを受講する者も多い。ただ当日は慣れない正座に師範の「もう足をくずしてもよいですよ」という言葉がさすがに待ち遠しかった模様。それでも「米国でこんなに本格的なお茶会に参加でき、子供だけでなく私たちにも、とても貴重な体験になった」と述べ、作法や所作について熱心に質問する姿が見られた。また、この日を楽しみにしていた子供たちは、持参

した浴衣に着替えたりと思いの服装で参加。座り方やお辞儀の仕方も心得たもので、誰もふざけたり騒いだりすることなく茶菓子をいただき、すこし慣れないながらも、しっかりと両手で茶碗を支えてお茶を味わっていた。
「おいしかった」という感想とともに子供たちは最後に、師範の先生に「ありがとうございました」といって感謝の言葉を述べた。また子供たちは、今回の印象を忘れないうちに感想文に「とても落ち着いた雰囲気になった」「自分でお茶を立てたみたいだった」と綴り、師範の先生はその感想のコピーを、うれしそうに受け取っていた。